

## 広島県医師会の対応について

まずは、ワクチン接種について、令和3年6月1日付けで県内全ての市区郡地区医師会と全会一致で緊急決議文を採択しております。

具体的には、個別接種医療機関数と接種数を増やすとともに、集団接種に積極的に協力し、さらには休日や時間外での接種対応などに取り組むことにより、住民の皆さんへの接種の可能な限りの早期の完了に向けて、広島県医師会及び市区郡地区医師会は、市町・県に全面的に協力することとしております。

引き続き「オール広島」でワクチン接種を進めてまいります。

続いて、検査体制について、広島県では、市区郡医地区医師会のご協力により1,000以上の医療機関で検査が可能な、充実した診療・検査体制が構築されております。これまでも医療機関で実施される検査により多くの陽性者を発見しており、これは、発熱等の有症状者への検査が有効であることを示していると考えます。

また、昨日、四国地方を含め、日本全国が梅雨明けいたしましたので、新型コロナウイルス感染症とともに、熱中症にも注意すべき季節となりました。新型コロナウイルス感染症と熱中症は、発熱あるいは高体温、倦怠感、食欲不振、筋肉痛など似たような症状が多く、症状だけでは区別が難しいことがあります。従いまして、本会としては、会員に対して、特に有症状者について、引き続き積極的なPCR検査や抗原検査の実施、並びに検査可能な医療機関もしくは積極ガードダイヤルの案内について協力を求め、検査機会を逃すこととないよう周知徹底したいと考えております。

医師会といたしましては、引き続き、県民の皆様に対して、安心を確保するとともに、受療勧奨を推進してまいります。

必ず次の大きい感染拡大の波が来ます。この4連休は、外出を控えて、オリンピックは自宅でTV観戦しましょう！静かに選手の活躍を応援しましょう！

令和3年7月20日

一般社団法人 広島県医師会  
会長 松村 誠